

『評価基準』A・B・C・Dの4段階です

A:大変良い B:大体よいが更に良くできる(もう少し学びの必要あり)

C:検討を要する D:改善を要する

1. 総則	総合評価
(1) 保育所保育指針の趣旨や必要な法令に関して理解している	B
(2) 保育所保育指針が示す保育所の役割や保育の原理を理解し、保育をおこなっている	B
(3) 保育園の全体的な計画(保育理念・目標)を理解し、説明できる	A

2. 子どもの発達	
(1) 乳幼児期の発達の特性を理解している	A
(2) 乳幼児の心身の発達段階を理解している。また、適切な援助をしたり基本的な要求を受け止め、満足させることができる	A
(3) 子どもの気持ちを理解し、信頼関係を築けるように日常的に心掛けている	A

3. 保育の内容	
(1) 保育の目標を達成するために、ねらいや内容を具体的に立て保育を展開していることを理解している	C
(2) 子どもが日々を過ごすために安全な環境や適切な衛生状態を作ることができる	A
(3) 一人ひとり健康状態について把握し、異常に気付いたり、生活に必要な基本的な生活習慣や態度を身につけられるよう促したり、運動遊びを充実させ、やり遂げた喜びや自信が持てるような配慮ができる	A
(4) 人との関わりの中で、ルールを守って活動する心地良さや、自分の意思を主張したり相手の意見を受け入れたりしながら、人はかけがえのない存在であることに気付かせるように導く努力をしている	A
(5) 自然にかかわることにより、生命の尊さ、自然の不思議や偉大さに気付かせ足り、自然を大切にすることを育てることできる	A
(6) 人の話を聞き、必要な会話を身につけたり、絵本や物語に親しみ、言葉の面白さや美しさに気付かせることができる	B
(7) 表現活動を通して、感動や発見ができる環境を作ったり、歌ったり踊ったり、楽器を弾く楽しさを味わう機会を作るようにしている	B
(8) 職員の連携体制の下に気になる子や障害を持つ子の特性を理解し、保護者の思いなどもしっかりと受け止め、理解しようと努めて援助している	A

4. 保育の計画及び評価	

(1) 各クラスの計画を立て予測することによる実践を経て評価し、次の計画へと いう流れを基本に置いて、柔軟な計画作成を提案・助言をおこなう	B
(2) 保育内容を評価・反省し、課題を見出した内容に適切なアドバイスをおこな う	D

5. 健康及び安全・食育	
(1) 保育所をとりまく環境及び一人一人の子どもたちの状態を把握し、臨機応変 に対応しつつ子どもへの適切な対応ができる	B
(2) 子どもの事故及び救急・救命処置ができる	A
(3) 基本的なアレルギーの種類や特質について理解し、アレルギーの子どもの援 助ができる	A
(4) 体と食物の関係・栄養について基礎知識を持ち、個人差を考え、できるだけ 好き嫌いをなく食べられるような援助を行い、食育活動での栽培や収穫を通して、 食べ物への興味や関心が持てるよう導いたり、食事のマナーを伝えることができる	A

6. 保護者支援・子育て支援	
(1) 保護者との信頼関係を築き、日常的な情報交換を始め、個別に面談などをお こなっている	A
(2) 虐待について早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長に届く体制にな っている。 問題解決のための手立てを講じたり関係機関との連携を図り有効な対応ができる	A
(3) 保護者の人権・プライバシー守秘義務について理解でき、保護者への簡単な カウンセリングや子育てアドバイスができる	A
(4) 園の子育て事業の理解説明ができ、地域の子育て支援のニーズを把握してい る	B
(5) 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連 を配慮しながらおこなっている	—

7. 職員の資質向上	
(1) 社会人として一般常識を持ち、身だしなみ等に注意し来客対応ができたり、 自己の健康管理ができる	C
(2) 保育士という職種を意識し、園の信用を無くすような行為・発言はしない	B
(3) 公平に人の話を聞き、正確に伝達できる	B
(4) 自分の職務に積極的に取りくみ、担当以外の業務にも進んで参加することが でき、自己研鑽をつむことができる	B
(5) 職員間での協調性・信頼関係があり、後輩育成のための適切な助言やフォロ ーができる	B
(6) 他人の心情・立場を理解し、ものごとを判断し援助できる	B
(7) 保育の質の向上や改善のための取り組みを、職員参加によりおこなっている	C
(8) 職員の研修ニーズを把握し、職員に適切な研修機会を確保している	A
(9) 実習生を受け入れるにあたっては、受け入れの意義や方針が全職員に理解さ れ、実習担当者もきめられている	A

8. 地域住民や小学校・関係機関・団体との連携	
(1) 子どもの健康状態について、園嘱託医による年に2回の健康診断や歯科検診を実施し、相談や連携ができる体制になっている	A
(2) 小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けたり、定期的に職員間の話し合いの場などで連携の機会がある。また、中学生や高校生の職場体験を受け入れ、子どもたちとの交流の場をつくる	A

9. 運営管理	
(1) 保育所の保育理念及び基本方針が明文化されている	A
(2) 守秘義務の遵守を周知している	A
(3) 保護者への情報提供に当たっては、わかりやすく正確に伝える工夫をしている。また、保護者からのご意見・苦情などは常時受け付け、迅速な対応をしている	A
(4) 事故や災害に適応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B
(5) 帳簿類は適切に記載し、管理・保管が徹底されている	B